



## 水産情報速報版

H29. 11. 10. №1366  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行＝指導部漁業振興課  
URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

### 1. 本年度県知事表彰、農林水産業功労者表彰及び JF 全漁連漁協運動功労者表彰

11月3日静岡県庁において、本年度の静岡県知事表彰の受賞式が執り行われました。県の最高位の表彰である知事表彰は、社会福祉や地方自治などの各分野において県勢発展に尽力し、功績を残した人々を表彰するものです。本年度知事表彰は42人と8団体で、産業開発振興部門において荒川邦夫氏（本会会長、戸田漁協長）が長年に亘る漁業発展への尽力と地域産業の振興に寄与した功績が認められ受賞されました。

11月6日には同じく県庁において、静岡県農林水産業振興会（会長：川勝県知事）による農林水産業功労者表彰式が執り行われ、個人の部30人と団体の部1団体の受賞者に表彰状が授与されました。水産業部門3人の受賞者のうち、漁業関係では高田充朗氏（いとう漁協長）が本県水産業の振興発展に貢献した功績が認められ受賞されました。

また、JF全漁連は、2017年度（第32回）漁協運動功労者表彰の受賞者を発表しました。本年度の受賞者は35人で本県からは、橋ヶ谷長生氏（県無線漁協長、小川漁協専務）が受賞されました。受賞式は11月22日（水）東京一ツ橋の如水会館において執り行われます。

ここに、荒川様、高田様、橋ヶ谷様に心よりお喜び申し上げ、今後一層のご活躍を期待いたします。

### 2. 漁協女性職員のシンポジウム

県漁連は、10月18日静岡市内において「つながれ漁協女子、広がれ私たちの可能性」をテーマに漁協女性職員を対象としたシンポジウムを開催しました。全国的に減少している漁業者同様に漁協職員の数も減っている中、「漁協女子」が力を発揮して漁業を盛り上げようと県内21漁協のうち12漁協から17人が参加しました。

国の新たな水産基本計画では漁協運営に女性職員の活躍を促すよう明記されていますが、一方で、職員の減少により漁協職員の業務は、煩雑で多岐にわたる業務内容に加え、業務量も増えるなど課題が多いのが現状です。今回のシンポジウムは、業務の課題や悩みを共有し人脈を広げて女性職員の可能性と課題解決のヒントを見出してもらうことを目的に企画されました。

会議では、「紅富士しゃぶしゃぶ」を開発した富士養鱒漁協伊賀由美子さんによる活動事例の発表や活発な意見交換などを通し、今後の活躍を誓い合いました。参加者からは、次回開催を望む声も相次ぎ、講師として参加した東海大学の関いずみ教授も「仲間と結びついたことは大きい。発展させていきましょう」と呼びかけました。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

### 3. 第37回全国豊かな海づくり大会が開催される

10月29日、福岡県内で天皇・皇后両陛下ご臨席のもと全国の水産関係者と県民が多数参加して「第37回全国豊かな海づくり大会」が開催されました。

宗像ユリックス本館で開催された記念式典には、荒天にもかかわらず全国から数多くの関係者が参加、大会会長を務める大島理森衆院議長は「対馬海流の影響を受ける筑前海、干満差日本一の有明海、おだやかな内海の豊前海、筑後川や矢部川など各水域の特性を生かした漁業が行われている。海で生まれた豊かな伝統と文化は県の大きな魅力」と式辞を述べ、続いて、挨拶に立った開催県の小川洋福岡県知事は「大会を契機に海や河川、水源地域の保全の大切さについて未来を担う子供たちにつないでいきたい。」と決意を述べました。

今回の大会テーマは『育もう 海 人 地域 みんなの未来』で、岸宏大会推進委員会会長（JF全漁連会長）より「新たな決意を持って、水産資源の維持・管理と環境・生態系の保全に努めていく」との大会決議が提案され、万雷の拍手で採択されました。

### 4. 第68回全国漁港漁場大会開催

—（公社）全国漁港漁場協会—

10月31日（火）岩手県民会館大ホールにおいて、第68回全国漁港漁場大会が開催されました。岩手県での開催は34年ぶりで全国から関係者約1,700人が参加、東日本大震災の被災地での開催とあって、防災・減災に対する意識を再確認する大会となりました。

大会は、地元・岩手沿岸部選出の衆議院議員鈴木俊一東京五輪・パラリンピック担当大臣から「多くの方々から力強く温かい支援をいただいた」と謝意が述べられるとともに開会が宣言され、（公社）全国漁港漁場協会 橋本会長の主催者挨拶の後、斎藤健農林水産大臣（岡貞行水産庁漁港漁場整備部長代読）、衛藤征士郎漁港漁場漁村整備促進議連会長、江島潔自民党水産部会長、白須敏朗（一社）大日本水産会会長の祝辞が続き、達増拓也岩手県知事からは、歓迎の言葉と謝意が述べられました。

会議は、2部構成で進められ、第1部では、東日本大震災津波に係る事例発表（ご支援に感謝をこめて）があり、岩手県漁業協同組合連合会大井誠治会長（宮古地区）、全国漁協女性部連絡協議会盛合敏子会長（重茂地区）、綾里漁業協同組合青壮年部佐々木淳さん（綾里地区）が、それぞれの地域における復旧・復興への取組みを説明するとともに全国からの復興支援に感謝の意を表明しました。

事例発表後の第2部では、（一社）岩手県漁港漁村協会水上信宏副会長（洋野町長）を議長に選出して議事が進められ、大会の付議議案「漁港漁場整備長期計画の着実な推進と平成30年度予算の確保に関する件」に関し、（一社）岩手県漁港漁村協会野田武則理事（釜石市長）より提案理由が説明され、（一社）岩手県漁港漁村協会吉田ハマ子理事（岩手県漁協女性部連絡協議会副会長）が提言朗読を行い、議案は満場一致で承認され閉会しました。

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう